

修学旅行

題字/2年5組 田中瑞馬



1年学年主任
岩崎 毅

本年度の修学旅行は、新潟県の湯沢でのスキー研修と東京での自主研修およびコース別研修という内容で実施しました。期間中、生徒たちには和歌・俳句等の作成を課してあります。生徒等による作品を中心に今回の旅を振り返ることとします。

1月20日
夜も明けやらぬ中、思い思いの旅支度を調べ天草高校へ。関南橋で先生方に、そして熊本空港では学校長にも見送っていただき、空路羽田へ。

1月21日
慣れないスキー靴に悪戦苦闘しつつ、湯沢高原スキー場へ。地元の人によれば、例年月に日あるかないかという快晴、生徒たちの幸運に感謝。各クラス男女二班ずつに分かれインストラクターの指導を受ける。

1月22日
滑れる手応えを感じた時には、スキー実習は終了。グレンデに心を残しつつ、午後から再び東京へ。わずか数時間前まで白銀の世界にいたことがまるで夢のよう。しかし、ベイブリッジからの夜景に歓声を上げ、気分は急に東京モード。

1月23日
腹が減り、菓子を啄み水を飲み、ついに手を出す新潟土産。(下田 南1の2)生徒らが最も楽しみにしていた、東京での自主研修。先を争うようにホテルを後に。自主行動開始から僅か1時間で、原宿にて受難の連絡が入る。聞けばいくつもの班が外国人の執拗なセールスに捕まったとのこと。生徒たちの臨機応変の対応と、緊急連絡用のPHSのお陰もあり事なきを得る。中には門限間際、必死の形相で駆け込み、到着するや否や、立派な立派になる生徒達も。一日慣れない東京で悪戦苦闘したであろうことや、天高生のまじめさが垣間見え、職員一同笑顔に包まれる。

1月24日、最終日
静かに咳く。(山下夢海1の2)旅行中は、数名の風邪症状を訴えた生徒と怪我をした生徒はいたものの、極めてスムーズに全日程を終えることができました。旅行をおして生徒達の表情が日に日に引き締まっていくような印象を受けました。

1月25日
無理なのよ 言われたけれど
あしひらけ 言われたけれど
無理なのよ 言われたけれど
まあねを見る 言われたけれど
無理なのよ(高山真里奈1の1)
一日のスキー実習を終えた生徒の表情は、自らの上達が実感できるからか、上気しているように見える。

1月26日
スキー靴 外した後の 開放感
(山下夢海1の2)



1月22日

平成25年1月20日(日)〜1月24日(木)
土田圭司教頭先生を団長に、
新潟・東京4泊5日の修学旅行に行ってきました。



1年2組
堤田 一史

修学旅行では、初めて体験することばかりで、全てが新鮮に思えました。飛行機から降り東京につくと、高層ビルが立ち並ぶ景色に驚きました。その後、バスで移動する中、長いトンネルを抜けると、一面真っ白の景色が広がっていて、めったに雪の降るのを見たことがない私にとって、信じられないような光景に感動を覚えませんでした。そんな雪景色を見ると、スキー研修がとても楽しみにしていました。スキーをするのは初めてだったので、最初はとても怖く、転んでばかりでしたが、何度も転倒しながら滑り続けるうちに、上手く滑れるようになりまし。スキー研修をしている時の気持ち、恐怖から楽しさに変ったのも嬉しくなりました。

東京での自主研修は、計画した時間間に合わせた行動が大変でしたが、無事計画通りに楽しく回ることができました。今回の修学旅行で学んだことを、今後の生活に活かしていきたいと思えます。



1年1組
梶原 由絵

修学旅行前まで、欠席や忘れ物が多くクラスの雰囲気は不安でいっぱいでした。当日、一組は全員出席で、良いスタートが切れました。

今回の修学旅行は天気に恵まれ、最高の五日間でした。新潟へ入った時は、「トンネルを抜けると雪国」という文章のとおり景色が広がっていて、バスの中では歓声が上がりました。スキー研修では、珍しい雪に小学生のようにしゃがみ必死にマスターしようという汗をかきました。世界一のロープウェイにも乗ることができ、天草にはない自然を満喫できました。三日目からの東京では、初めて見る大都会に目を輝かせました。バスの中から見える一際目立ったスカイツリーには感動しました。この五日間、全員が周りを気遣い、時間通り行動できました。不安でいっぱいだった旅行も天草へ帰る頃には、みんな見違えるほどに成長することができたと思えます。この旅行に関わった全ての方に感謝したいです。

マラソン大会

第八十四天草高校

題字/2年2組 山田哲平

平成二十五年二月十日(日)

須藤もも

男子 33km
女子 20km



男子1位
2年6組
石田 光

今年のマラソン大会で優勝することができたのも、地域の方々の応援のおかげだと思います。最後まで、自分のペースで走り、昨年のタイムよりも速く走ることができました。80回大会という記念すべき大会で優勝することができて、とても嬉しです。



女子上位の3人
2年1組
山田 夏未

今回は、高校最後のマラソン大会という事で、思い出を作るために、陸上部の二人と共に励まし合いながら走りまわりました。20kmの道のりはとてもきつかったですが、仲間がいたので頑張れました。その結果として、優勝することができて嬉しかったです。

先日の城南駅伝大会でも優勝することができ、日頃の練習の成果が実って、良かったと思います。これを弾みとして、陸上部キャプテンとして総体までつなげていきたいです。保護者や地域の皆様、温かいご声援やご協力ありがとうございました。

順位	クラス	氏名	記録	所属クラブ
1位	2-6	石田 光	2: 4:53	陸上部
2位	2-5	江崎 駿	2: 7:19	サッカー部
3位	1-4	倉田 浩平	2: 8:51	陸上部
4位	1-4	田中 誉也	2:11:26	サッカー部
5位	2-3	松本 稜平	2:12:24	サッカー部
6位	2-6	坂田 示悠	2:15:02	陸上部
7位	1-3	富崎 怜	2:17:23	陸上部
8位	2-2	濱本 大作	2:20:33	サッカー部
9位	2-6	荒木 亮輔	2:20:42	サッカー部
10位	1-6	松本将一朗	2:21:57	陸上部

順位	クラス	氏名	記録	所属クラブ
1位	2-1	山田 夏未	1:25:51	陸上部
2位	2-4	宮崎 理	1:25:51	陸上部
3位	2-3	田中友里絵	1:25:52	陸上部
4位	1-5	金丸 遥香	1:25:52	女子ソフトボール部
5位	1-1	佐々木優衣	1:31:02	陸上部
6位	1-2	奥田 鷹海	1:31:02	陸上部
7位	1-3	泉 晴葉	1:31:03	陸上部
8位	1-5	濱崎 沙耶	1:32:18	女子ソフトボール部
9位	1-5	門口 京香	1:34:25	陸上部
10位	1-1	梶原 由絵	1:34:40	陸上部

マラソン大会 昔の写真



『時の記念日』行事としての長距離走(昭和6年より実施、1・2年は二江廻り、3年以上は富岡往復)は、本校伝統行事となっているが、沿道居住の人々の応援・お母さん方の接待(砂糖水・枇杷・アイスキャンデー)等、天草島挙げての名物行事でもあった。(天草高校100周年記念小冊子より)